

第7回宇都宮まちゼミ開催結果 (アンケート集計結果報告書)

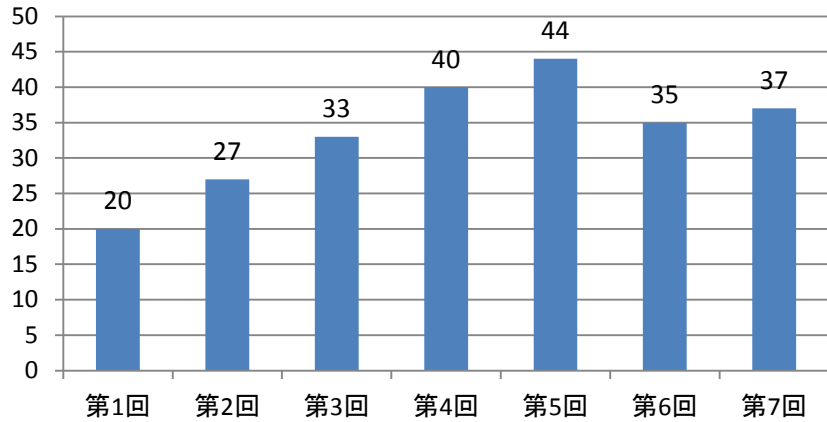
宇都宮商工会議所

第7回宇都宮まちゼミ受講者アンケートについて

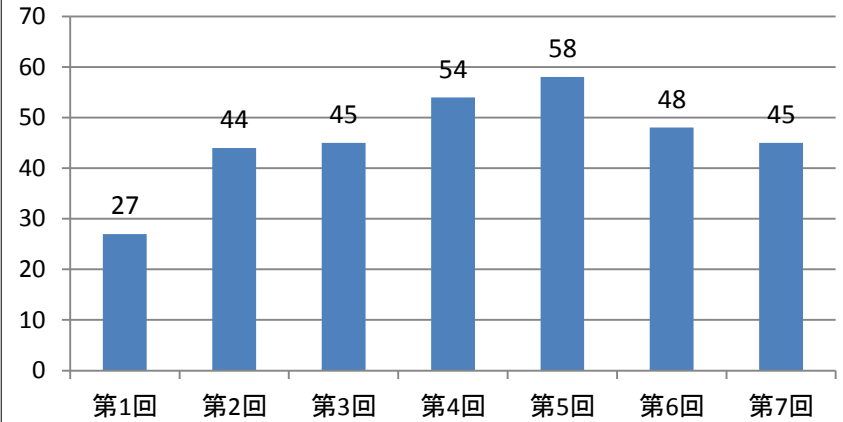
—概要—

- | | |
|---------|--|
| 1 目的 | 次回まちゼミ開催に向けた検証作業を行うための基礎資料とする |
| 2 調査対象 | まちゼミ受講者（開催期間内の追加講座を含む）
まちゼミ参加店舗 |
| 3 調査期間 | 平成31(2019)年2月8日(土)～平成31(2019)年3月3日（日）
※まちゼミ開催期間と同 |
| 4 新聞折込日 | 平成31年2月1日(金) ※受付開始日の前日 |
| 5 店舗数 | 37店舗 |
| 6 講座数 | 45講座 |
| 7 受講者数 | 498名(受講者アンケート回収ベース。追加講座を含む) |
| 8 調査方法 | 講座終了後、お店から受講者に対してアンケート調査を実施。
商工会議所がアンケートの集計及び分析を実施した。 |

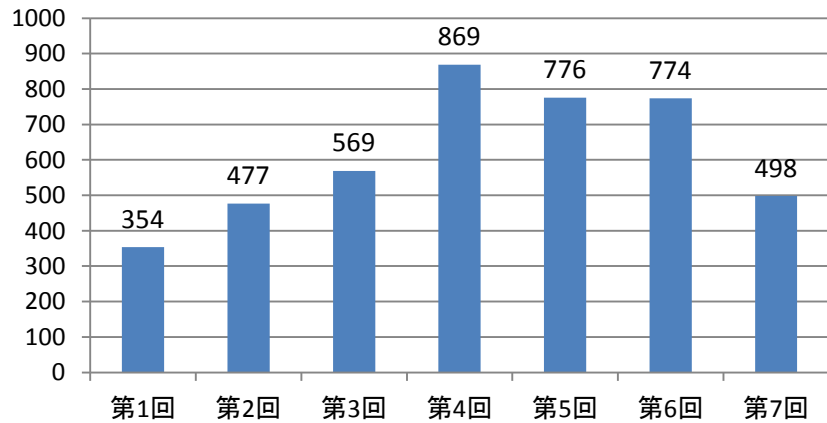
参加店舗数



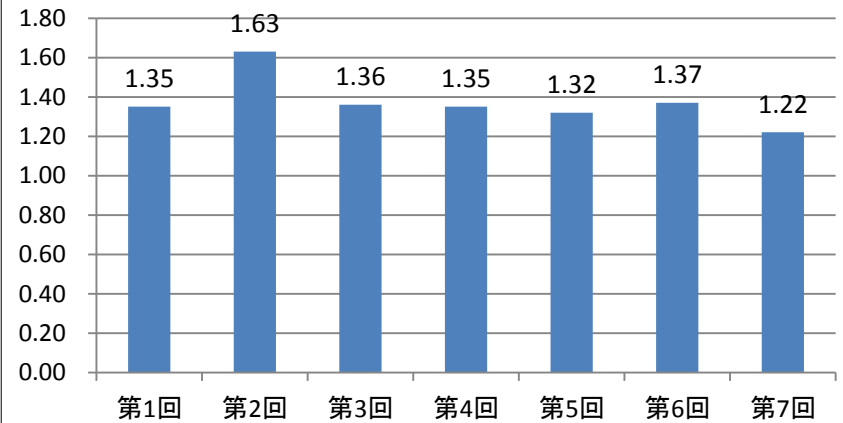
講座数

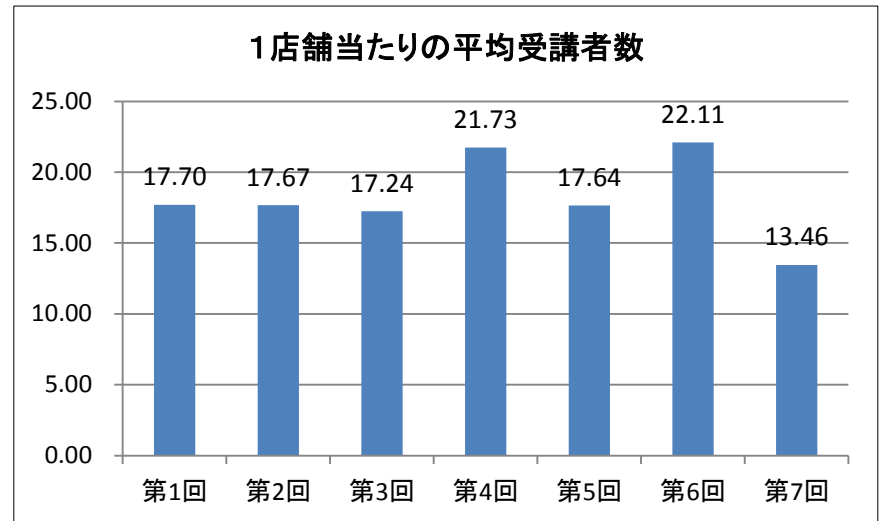
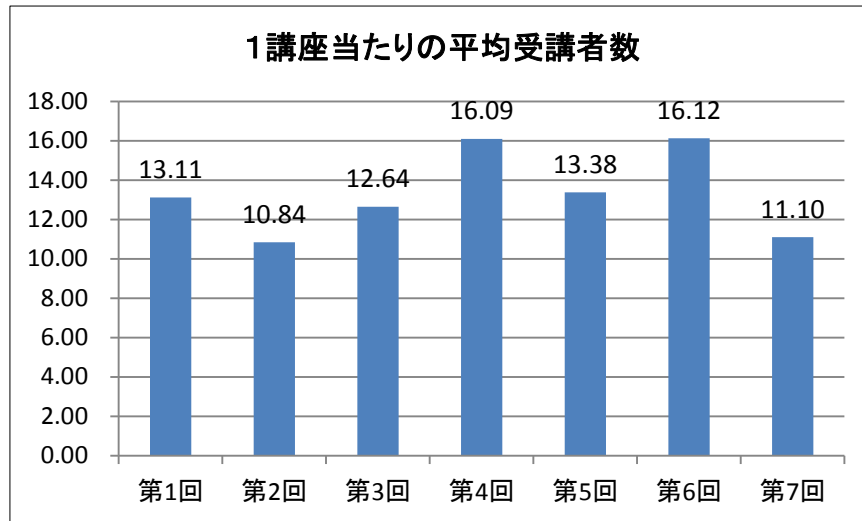


受講者数



1店舗当たりの平均講座数





■ 受講者数の大幅減（店舗数は微増）

・ 今回大幅に下回る結果となった（前回774名 ⇒ 今回498名(現時点)）

・ 要因は何なのか？

⇒ ◇ 消費者が「まちゼミ」に対して興味をなくしている？

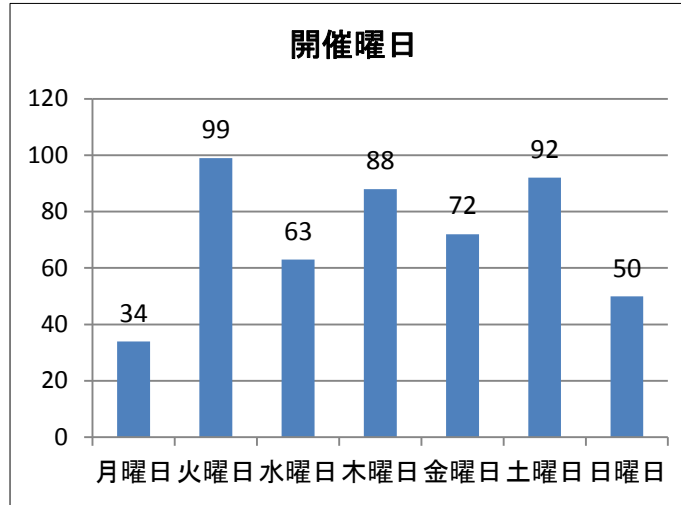
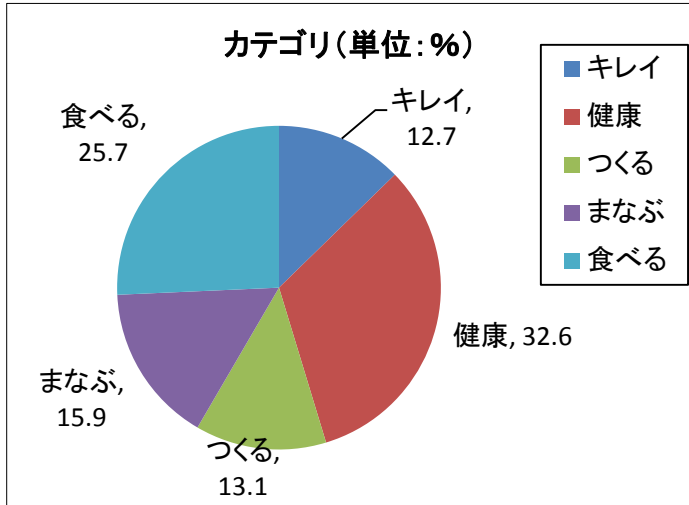
◇ 「まちゼミ」の講座内容がマンネリ化している？

◇ 「まちゼミ」という製品が、製品ライフサイクル(※)で言う「成熟期」または「衰退期」に差し掛かった？

※ 「導入期」→「成長期」→「成熟期」→「衰退期」と推移

◇ ひょっとして、インフルエンザの猛威により、外出が控えられた？

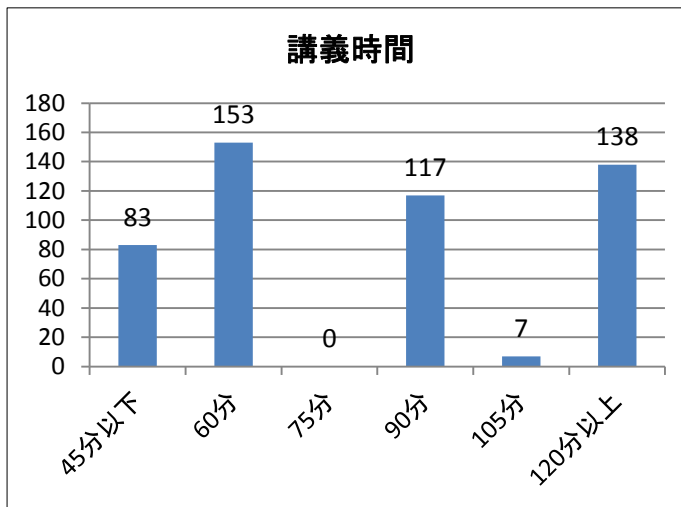
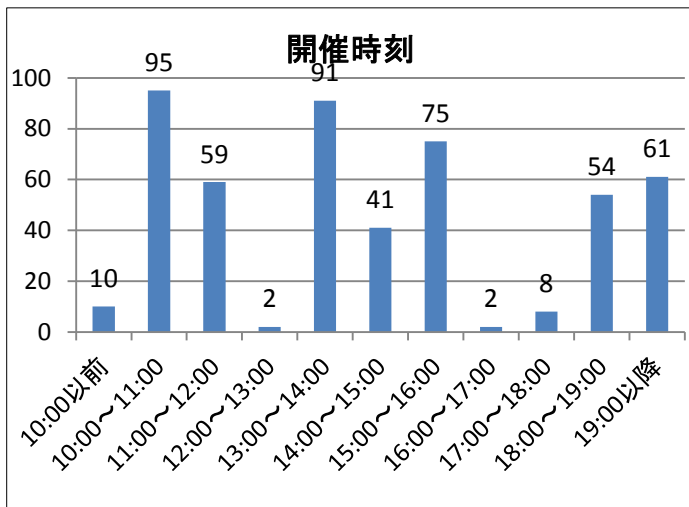
参加店舗の属性①



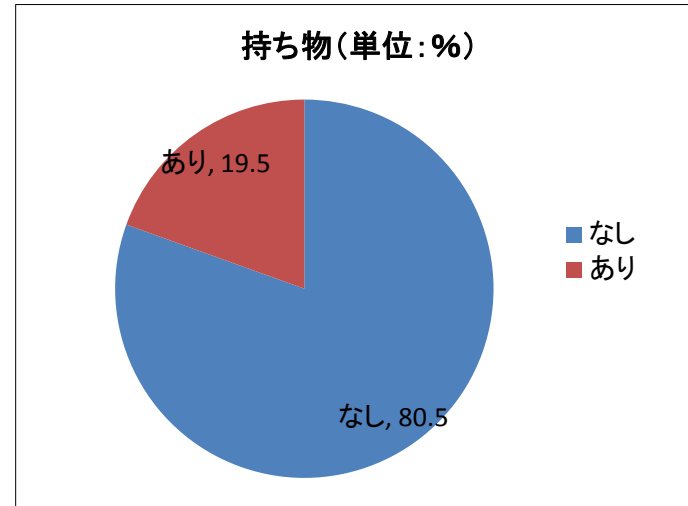
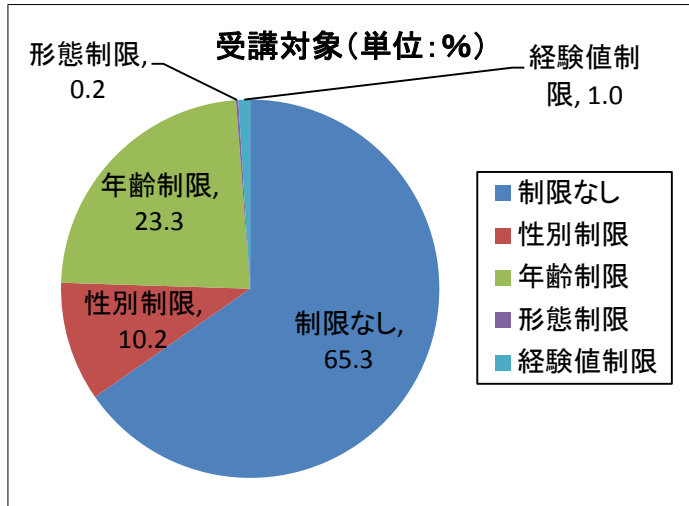
■ カテゴリ
 カテゴリは全体的な構成比と一致しており、カテゴリによって人気の差は出ていない。

■ 開催曜日
 火曜日が多数
 ※前は土曜日が最多で、前々回は火曜日が最多であった

■ 開催時刻
 10:00~11:00開始が最多。後述の受講者数の希望時間帯と一致している。

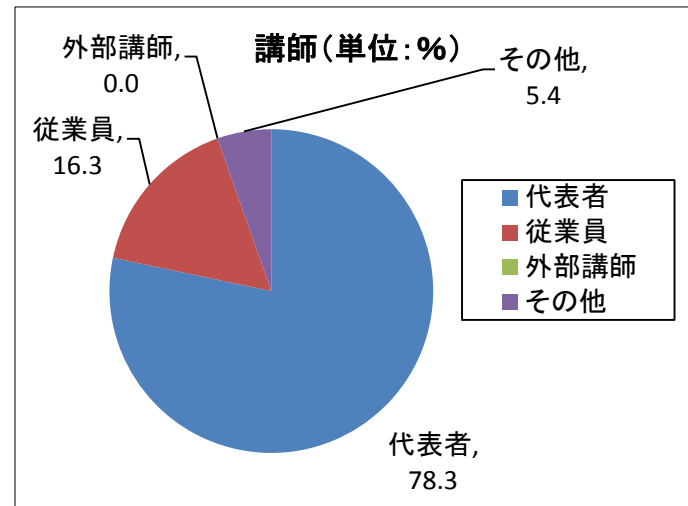
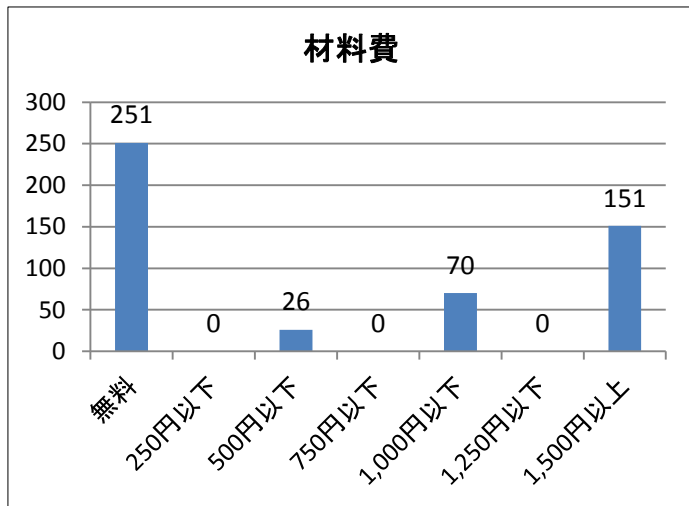


参加店舗の属性②

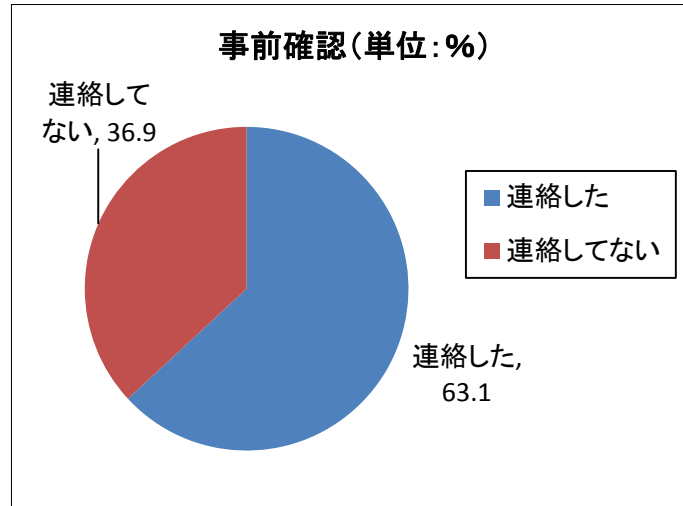
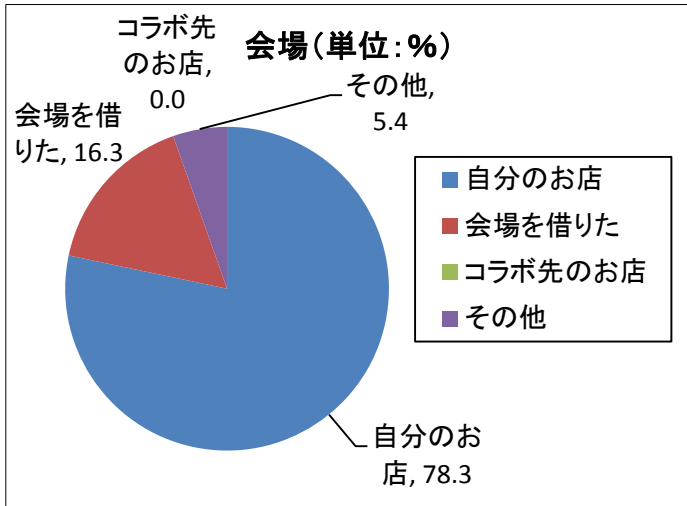


■受講対象
受講対象を制限して、ターゲットを明確に絞った講座が約35%ほどであった。

■材料費
材料費は無料と1,500円以上で設定した講座で二極化している。
※最高で3,300円の材料費



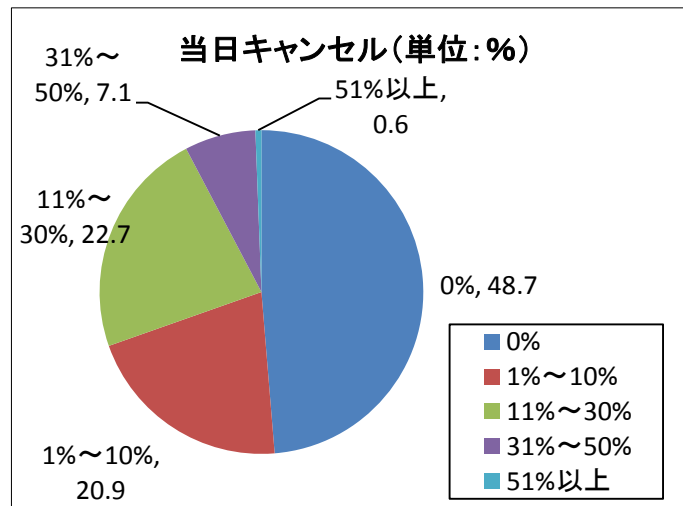
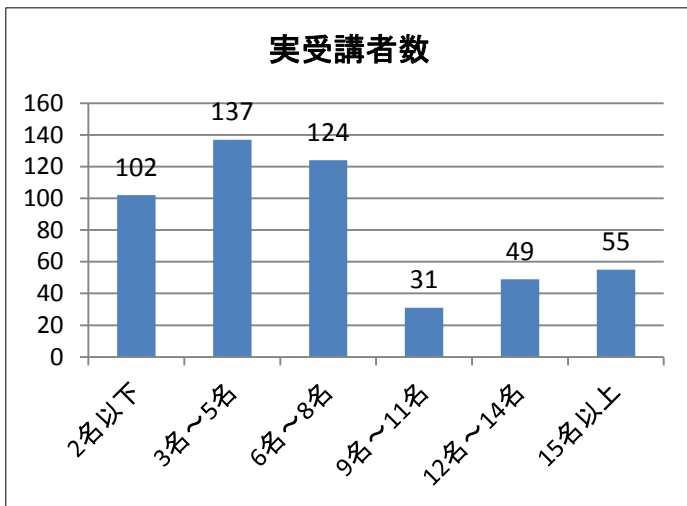
参加店舗の属性③



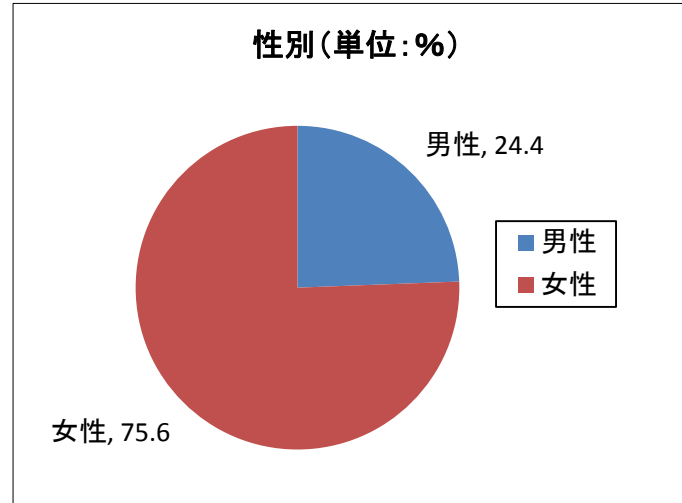
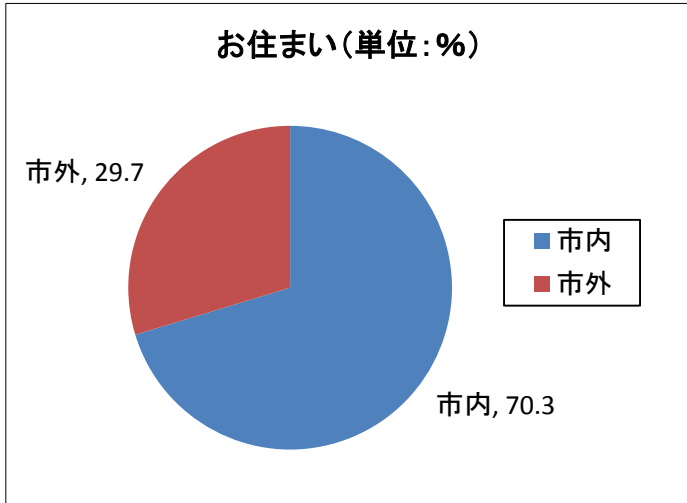
■事前確認
約63%が実施。
※前回は70%

■実受講者数
3名~5名の受講者数が最も多く、3名~8名程度が約52%を占める。

■当日キャンセル
約半数が0%であるものの、キャンセルは全体的に多めである。



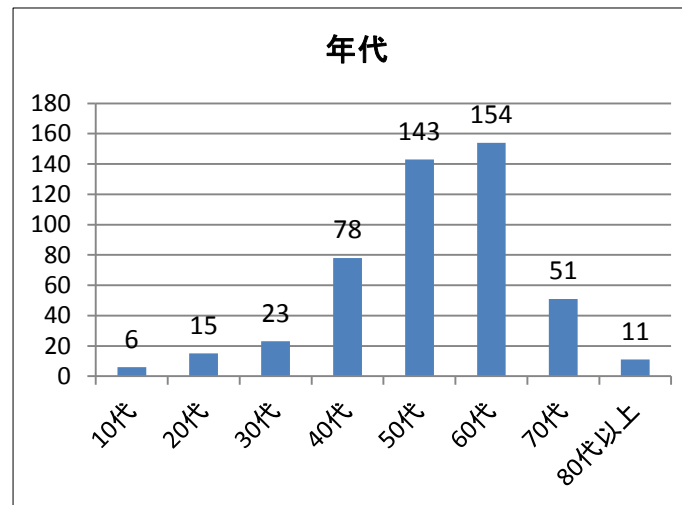
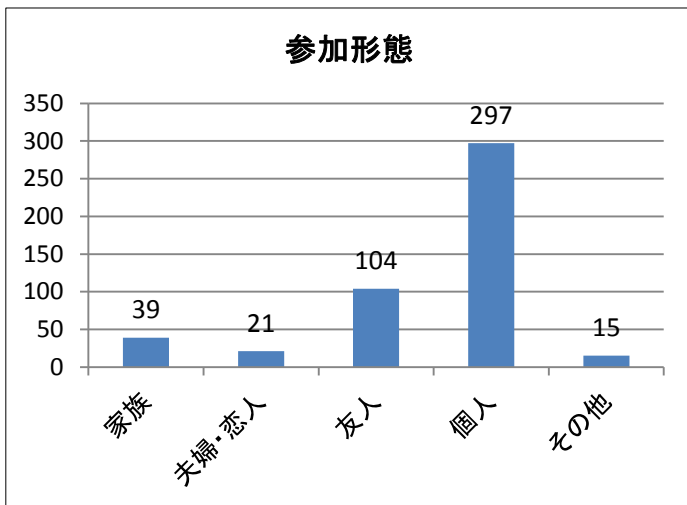
受講者の属性①



■ 1. お住まい
約70%の受講生の居住地が市内であった。

■ 2. 性別
約75%以上が女性の受講生であり(なお、前回は86%)、メイン受講生は女性であった。

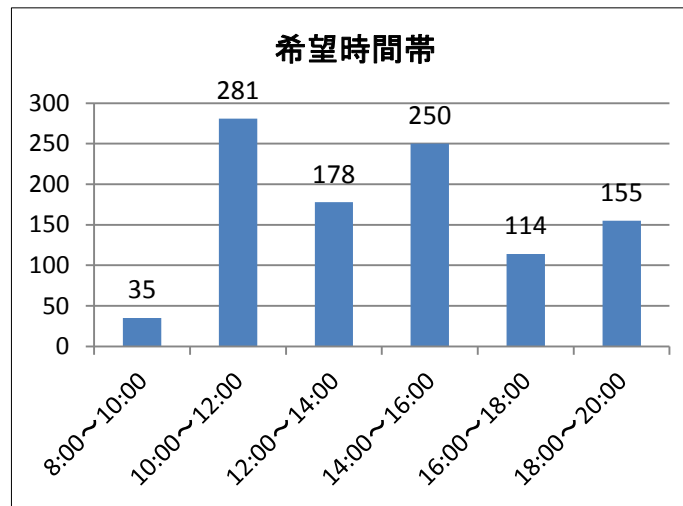
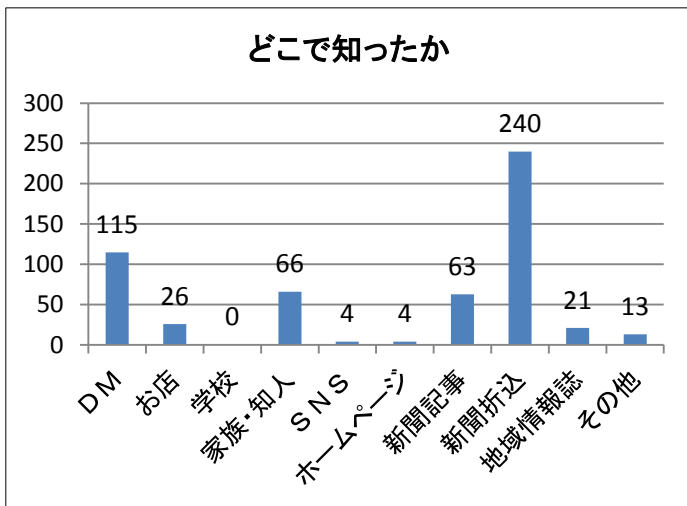
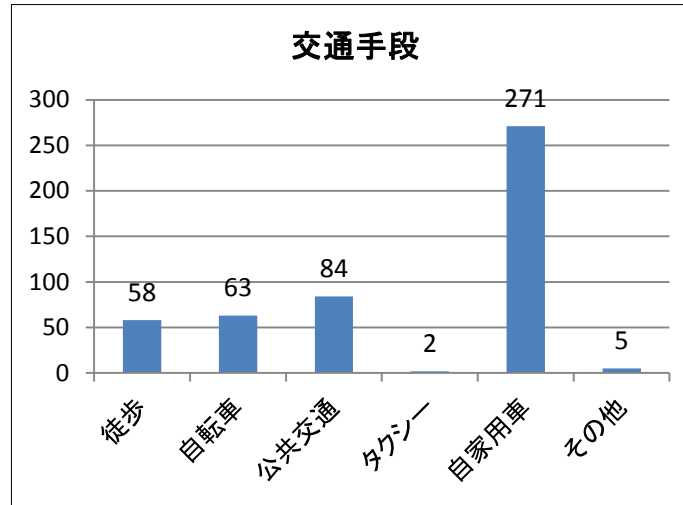
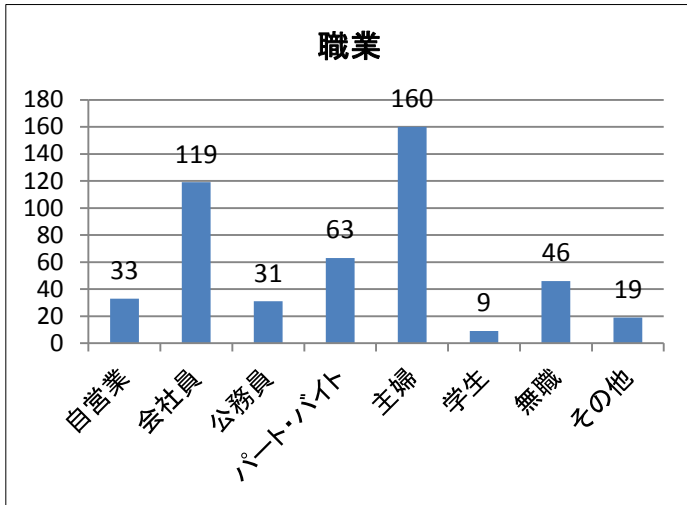
■ 3. 参加形態
約60%が個人での参加であり、次いで友人との参加が最も多かった。



■ 4. 年代
50代及び60代の受講生が約60%を占める。

※左記のグラフでは、アンケートの記入漏れや回収漏れによる未回答者は除いている

受講者の属性②



■ 5. 職業

主婦が最多であり、次いで会社員であった。

■ 6. 交通手段

自家用車が最多であり、公共交通利用の割合も比較的高い。

■ 7. どこで知ったか

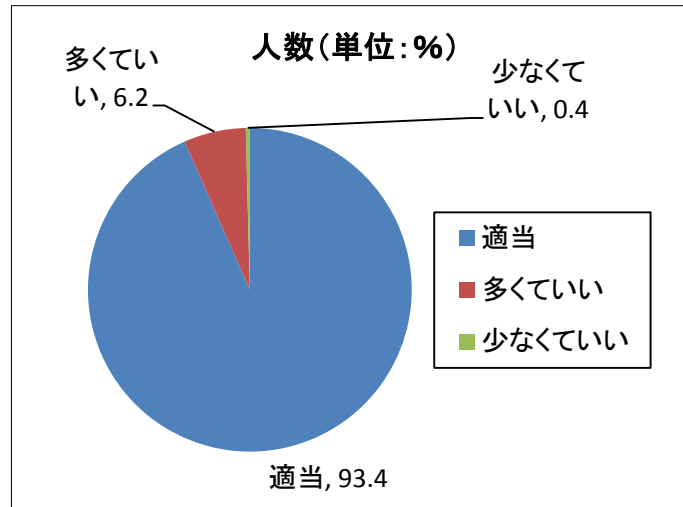
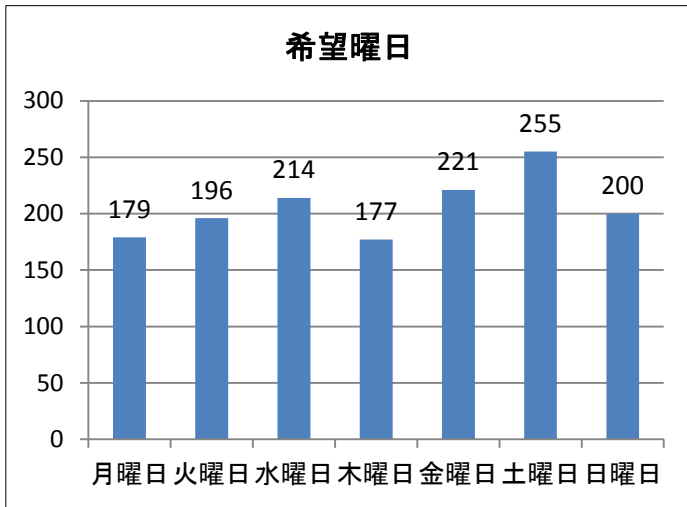
認知媒体は圧倒的に新聞折込が高い。また、DMの効果や、家族や知人からの認知度も高まってきている。一方でSNSホームページからの認知は低く（年代が高いことが要因と思われる）、今後継続していく中で、改善の検証が必要。

■ 8. 希望時間帯

10:00~12:00が最多で変動なし。

※左記のグラフでは、アンケートの記入漏れや回収漏れによる未回答者は除いている

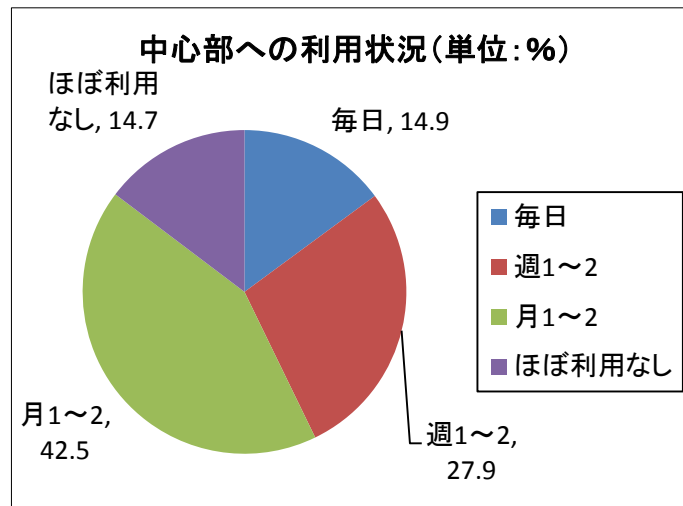
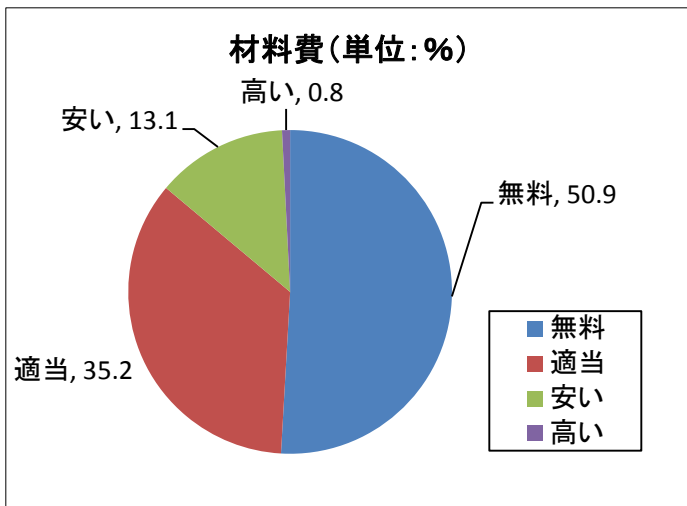
受講者の属性③



■ 9. 希望曜日
土曜日が最多であったが、他の曜日との明らかな差異があるわけではない。
※前回も土曜日が最多。

■ 10. 人数
適当との回答が多数。

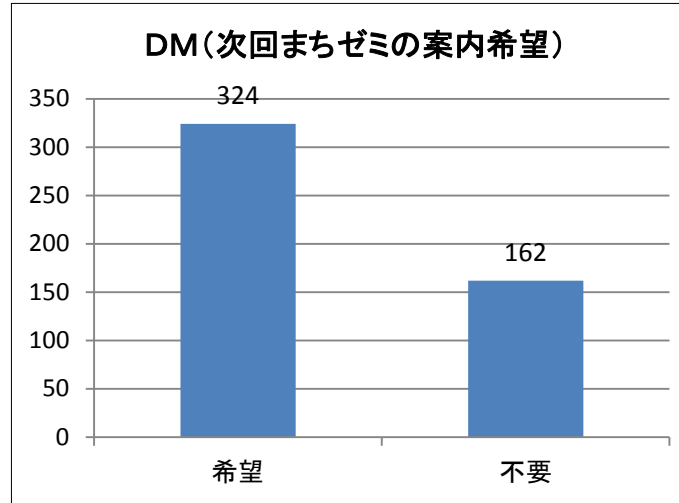
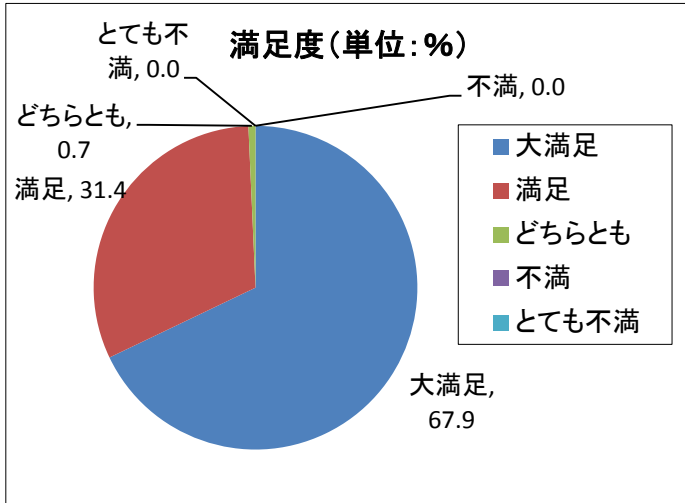
■ 11. 材料費
材料費が高い感じる方はほぼいない。



■ 12. 中心部への利用状況
「ほぼ利用なし」や「月に1~2回程度の利用」が約57%で(前回は約63%)、まちゼミによる中心部への求心力の効果はまだ見られないと言える。

※左記のグラフでは、アンケートの記入漏れや回収漏れによる未回答者は除いている

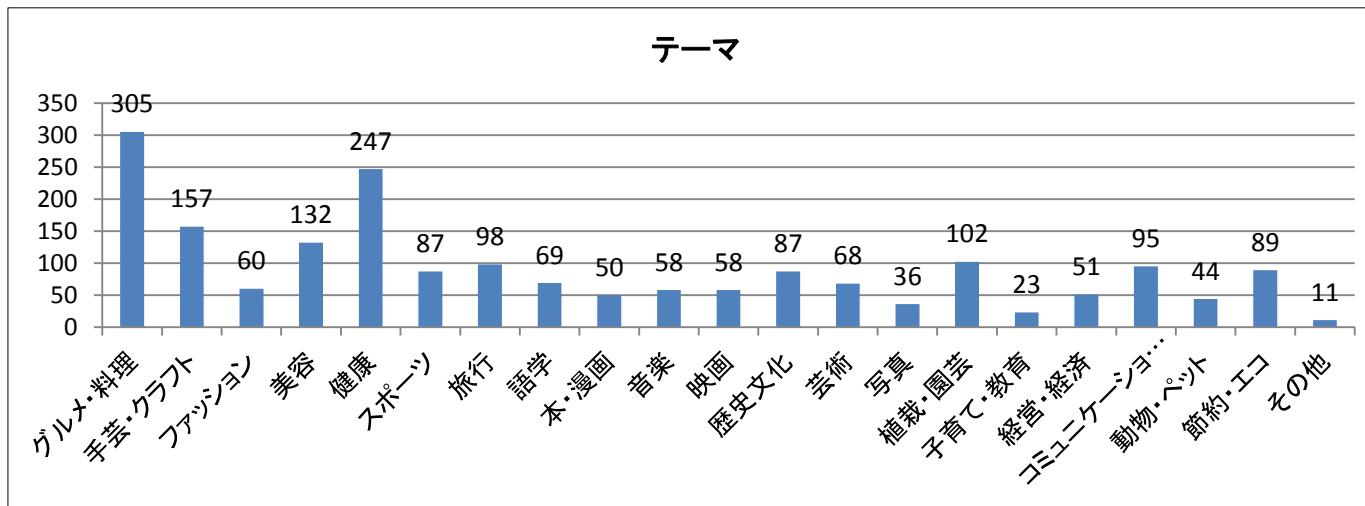
受講者の属性④



■ 13. 満足度
大満足及び満足の回答が99.3%と非常に高水準である。
※前は98.8%

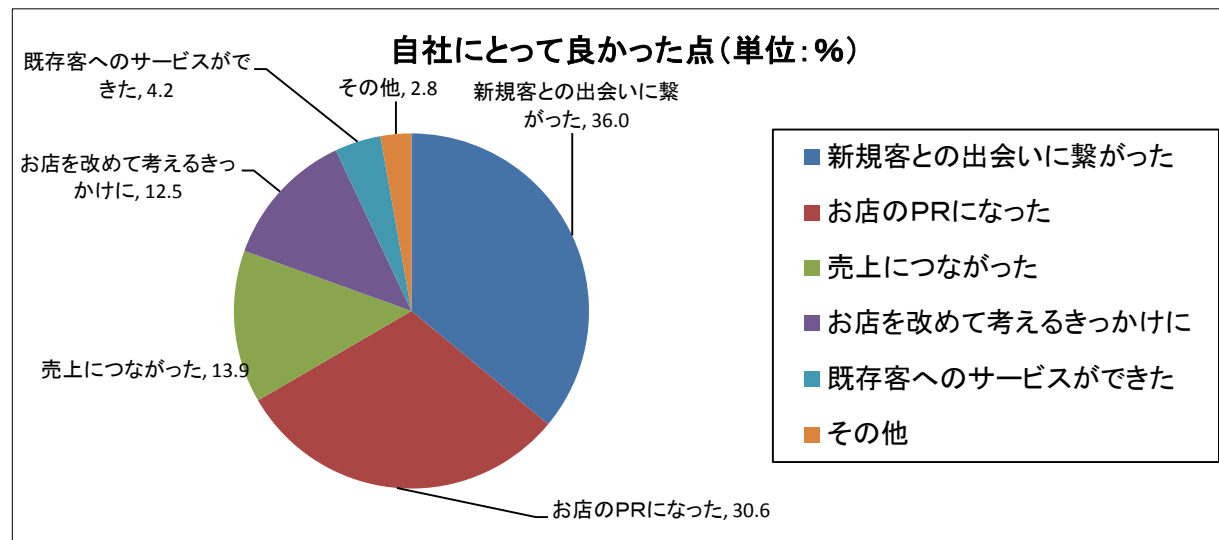
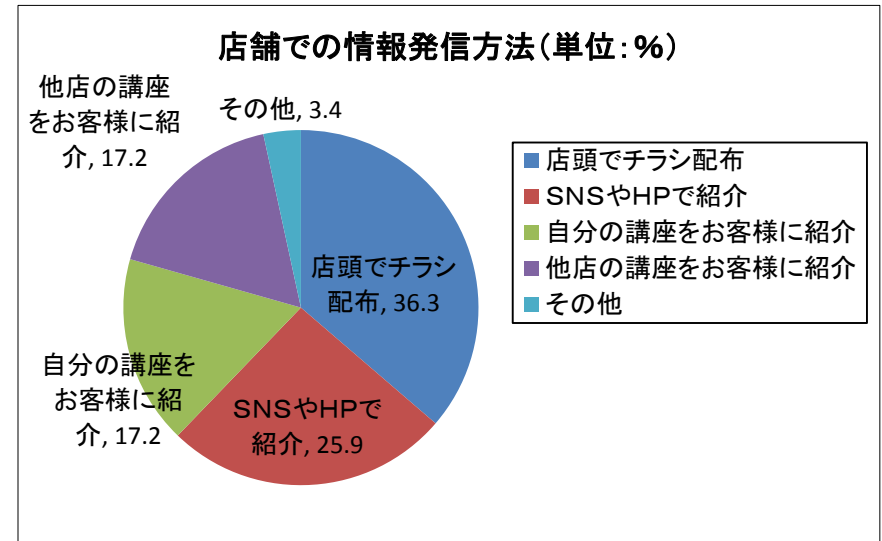
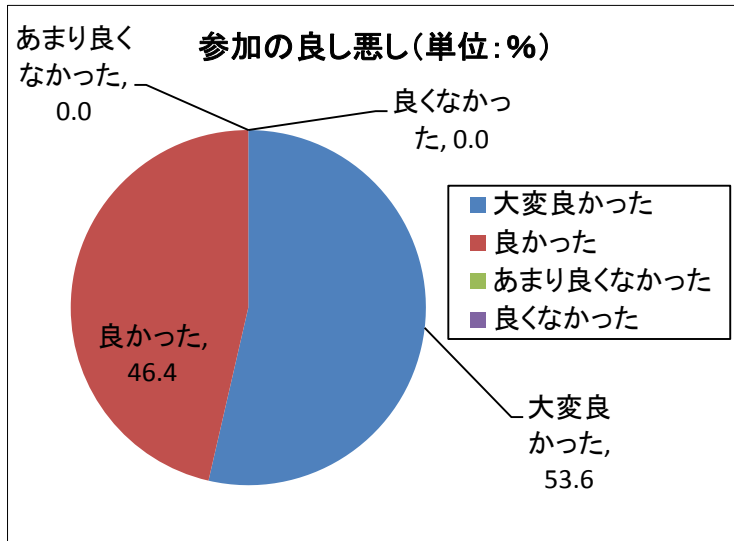
■ 15. DM
66.6%超の方が次回まちゼミの際にはDMを送ってほしいとの回答であり、次回まちゼミにも期待があることがわかる。

■ 14. 開催希望テーマ
「グルメ・料理」が最多であり、次いで「健康」、「手芸・クラフト」、「美容」「植栽・園芸」であった(受講生の多くが女性であり、また50~60代が多いことが要因と思われる)。

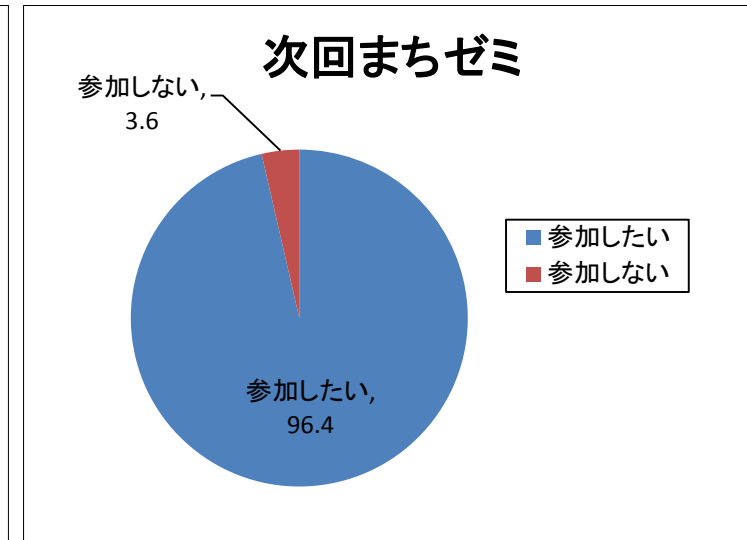
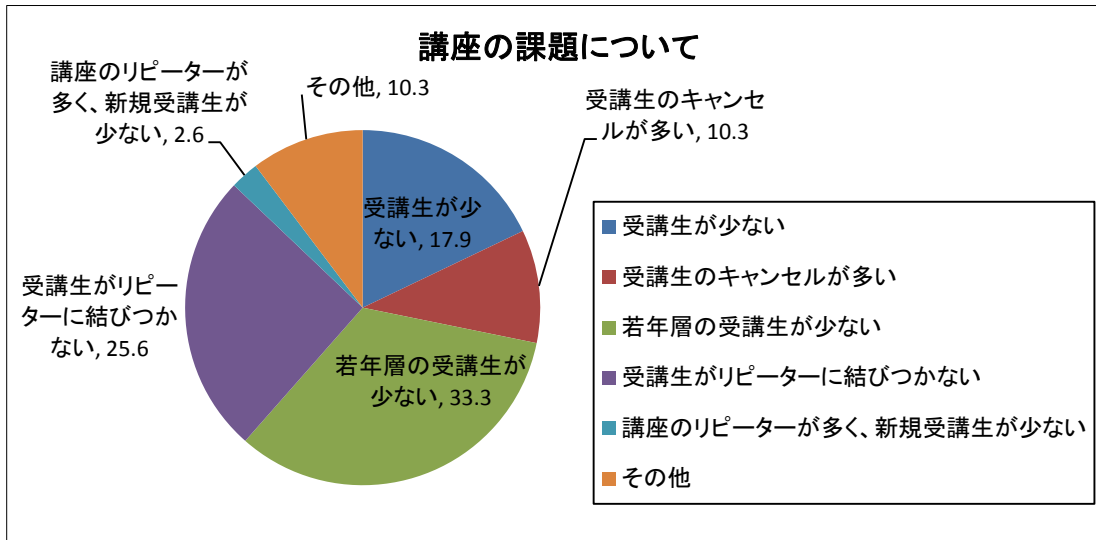


※左記のグラフでは、アンケートの記入漏れや回収漏れによる未回答者は除いている

参加店舗からのアンケート結果①



参加店舗からのアンケート結果②



【参加店舗からのご意見】

- 偶然だと思うが、男性参加者は個性的な方が多かった。
- 申込が女性1名であったが、都合によりキャンセルとなり実受講生が0名であった。その方にはフォローアップし、後日日程調整の上、ゼミを実施する予定である。
- 市外からの参加者も多く、中心市街地の活性化に寄与していると感じる。本業とは直結する開講内容ではないが、受講者からも好評を得ているので、可能な限り開講する予定である。
- 現在、飲食店の参加が少ないため、より多くの飲食店に参加していただけるようアプローチしていただきたい。
- 昼の部では〇〇、夜の部では□△、など様々な講座を実施したいと考えているが、参加費を少しでも減額していただけると複数講座の実施も十分検討したい。
- まちゼミを通じて「新規顧客が増えました」「売上アップに繋がりました」などの具体的な成功事例が知りたい。（経営者としてモチベーションが上がると思う）
- まちゼミを実施することにより、参加者から多くのプラスの意見を伺うことができ、大変うれしい。
- 今まで以上に「まちゼミ」を拡大していただきたい。
- 中心市街地以外の店舗も参加できるようにエリアを拡大してはどうか。
- 講座内容が簡単に見えてしまうと受講者の獲得に結び付かず、もう少し専門性のある講座内容を検討したい。
- 講座は毎回全枠に申し込みをいただいているが、無料の講座なので受講しているという感が否めない。